

2018ドラフト直前大特集

成績は2019年成績(9月9日現在)(Eはイースト)

過去5年のドラフト指名選手と成果度

2013年/成果度▶A

1	森友哉	大阪桐蔭高	試115	率.283	本14	点75
2	山川穂高	富士大	試122	率.271	本37	点102
3	豊田拓矢	TDK	試2	勝0 敗0	防13.50	
4	金子一輝	日大藤沢高	試6	率.357	本1	点2
5	山口嵩之	トヨタ自動車東日本	退団			
6	岡田雅利	大阪ガス	試47	率.271	本3	点7
7	福倉健太郎	第一工業大	E試34	勝3 敗0	防4.66	

2014年/成果度▶B+

1	高橋光成	前橋育英高	試2	勝1 敗1	防6.00	
2	佐野泰雄	平成国際大	試5	勝0 敗1	防8.38	
3	外崎修汰	富士大	試116	率.291	本18	点67
4	玉村祐典	敦賀気比高卒	E試14	勝0 敗3	防6.68	
5	山田遥楓	佐賀工高	試5	率.000	本0	点0
育1	戸川大輔	北海道大	E試105	率.219	本7	点46

2015年/成果度▶B

1	多和田真三郎	富士大	試22	勝13 敗5	防4.41	
2	川越誠司	北海学園大	E試22	勝1 敗2	防9.97	
3	野田昇吾	西濃運輸	試49	勝1 敗1	防2.97	
4	愛斗	花咲徳栄高	試2	率.000	本0	点0
5	南川忠亮	JR四国	試4	勝0 敗0	防15.43	
6	本田圭佑	東北学院大	試1	勝0 敗0	防23.14	
7	呉念庭	第一工業大	試10	率.259	本0	点3
8	國場翼	第一工業大	E試20	勝1 敗1	防7.13	
9	藤田航生	弘前工高	E試10	勝0 敗0	防4.26	
10	松本直晃	香川オーガナイズ	試23	勝0 敗0	防6.00	

2016年/成果度▶B

1	今井達也	作新学院高	試11	勝4 敗4	防5.10	
2	中塚駿太	白鷲大	試2	勝0 敗0	防18.00	
3	源田壮亮	トヨタ自動車	試122	率.271	本3	点46
4	鈴木将平	静岡高	E試103	率.230	本1	点32
5	平井克典	Honda鈴鹿	試54	勝3 敗1	防3.47	
6	田村伊知郎	立教大	試4	勝0 敗0	防3.60	

2017年/成果度▶C+

1	齊藤大将	明治大学	試14	勝1 敗2	防3.55	
2	西川愛也	花咲徳栄高	E試70	率.241	本0	点9
3	伊藤翔	徳島インテリックス	試14	勝2 敗0	防2.29	
4	平良海馬	八重山商工高	E試10	勝0 敗0	防5.40	
5	與座海人	岐阜経済大	出場なし			
6	網島龍生	糸魚川白嶺高	E試44	率.297	本0	点7

西武が1位の抽選を外したのは、ここ10年では2012年(東浜巨を外し増田達至を指名)と昨年(田嶋大樹を外し齊藤大将を指名)のみ。毎年、高校生、大学生、社会人をバランスよく指名し、年齢に大きな隔たりがない。優勝間近の躍進はドラフト戦略の成功と言える。

の甲子園では2本塁打を記録した。二塁送球も1・9秒台をコンスタントに記録する。
同じく群馬、健大高崎高の大柿廉太郎も強肩強打。逆方向への打球も失速しない。
野手では宜保翔(未来沖繩高)が候補。高校でヒジを痛め、内野手に転向。昨年12月から投手を兼務とポジションを転々としたが、それだけ野球センスがある証でもある。プロでは長打力を生かして野手で勝負か。

北村恵吾(近江高) は大型スラ

ッガー。立派な体格だが、パワーではなく技術で本塁打が打てる。増田陸(明秀学園日立高) は走攻守すべてにおいて攻めの姿勢が光る。失敗を恐れないアグレッシブさはプロで一層輝くだろう。外野手では向山基生(法政大)や森下翔太(東海大相模高) が候補だが、下位では残っていない可能性が高い。
鋼鉄のような肉体から凄まじいスイングを見せる中山翔太(法政大) は、スラッガーの並ぶ西武打線のなかに入っても目立つだろう。



野球太郎
イチオン!

吉田輝星

(投手/右投右打/金足農高)

中村剛也を除くとレギュラーの野手は30歳以下。FA移籍などの不安とは背中合わせだが、選手が揃っている間に投手補強に注力を注ぎたい。即戦力候補が理想だが、今井達也しかり、高橋光成しかり、他球団でも若くても能力が高ければ、1軍でも活躍できる時代。深くこだわらず、吉田輝星(金足農高)を指名したい。コンディションが整えば、1軍で通用するような球質だと感じるし、制球が悪い投手ではなく、投げる以外の技術もしっかりしている。また、今井や高橋光といった甲子園優勝投手の後輩となると、体調管理や調整方法で参考になる部分は多いだろう。吉田にとっても西武はいい球団なのではないだろうか。